

平成26年度指定管理者モニタリングシート

1 施設等の概要

施設名	西部地域センター		所管課	市民部生活文化課（内線 2 4 3 2）	
指定管理者名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ		指定管理者所在地	東京都豊島区東池袋1丁目44-3 ISPタマビル7階	
指定期間	平成23年4月1日～28年3月31日	利用料金制の有無	有 ☒ 無 ☐	他自治体での指定管理者実績	小平市花小金井南児童館 葛飾区葛飾勤労福祉会館 ほか多数
施設の設置目的	市民文化の向上を図るとともに、コミュニティ活動を増進するための施設				
事業概要 (サービスの概要、自主事業等)	施設の維持管理運営（貸出業務等） 若葉祭り、サロンフレンズ、キッチンハーモニー男の食卓、夏・冬・春休み自習室、スリラー館、アロマ講習会、プリザーブドフラワー講習会、地域センターまつり、他				

2 モニタリング評価

評価項目	評価の視点	評 価				
公平な使用の確保	＜公平性の確保＞使用許可は適切に行われたか、不適切な利用制限はなかったか	5	4	3	2	1
市民サービスの向上	＜事業等運営＞新たなサービスの提供等、具体的なサービスの向上を図っているか	5	4	3	2	1
	＜施設維持管理＞設備機能維持のための保守点検、清掃業務・光熱水費・備品管理等に遺漏はないか	5	4	3	2	1
	＜情報管理＞個人情報保護及び情報公開について十分配慮し、必要な措置を講じているか	5	4	3	2	1
	＜危機管理＞事故・災害等に対する綿密な危機管理体制が整っているか	5	4	3	2	1
	＜市民協働＞地域住民と一体化した取り組みがなされているか	5	4	3	2	1
	＜ノーマライゼーション＞障害者や高齢者等に配慮した運営をしているか	5	4	3	2	1
	＜モニタリング＞利用者の満足度を図る仕組みや事後評価がなされているか	5	4	3	2	1
経費の節減など効率的な運営	＜コストパフォーマンス＞サービス水準を維持しつつ、利用者に適正な運営をしているか	5	4	3	2	1
	＜収支の改善＞利用者の増加を図る等、収支状況の改善に向けた取り組みをしているか	5	4	3	2	1
	＜経済・効率性＞経費節減のための工夫など、効率的な運営の仕組みが確立されているか	5	4	3	2	1
	＜経費の妥当性＞管理運営経費は、その内訳も含め妥当であり、適正に執行されているか	5	4	3	2	1
	＜再委託業務＞再委託されている業務の範囲は適切か	5	4	3	2	1
	＜環境対策＞市の環境施策を理解し、省エネ省資源等、地球環境に配慮した管理運営がなされているか	5	4	3	2	1
安定的な施設サービスの継続的な提供	＜サービスの信頼度＞施設管理手法及び維持管理体制が明確になっており、安全、安定的な施設管理ができているか	5	4	3	2	1
	＜職員の専門性、配置体制＞施設の管理及び事業の運営を行うにあたって十分な能力を有し、事業内容に適した職員が配置されているか	5	4	3	2	1
	＜研修体制＞職員の指導育成、研修体制は適正であるか	5	4	3	2	1
	＜労働条件＞職員に対し、労働法規等を遵守した適正な勤務体制か	5	4	3	2	1
	＜経営基盤＞指定管理者（母団体）は、公共サービス事業提供者にふさわしい理念・方針のもと、経営が安定しており、施設を継続的・安定的に管理できる能力を有しているか	5	4	3	2	1
施設の特性によるサービス提供	＜施設の特性＞施設の設置目的の達成等、その施設ならではの特色を活かした運営がなされているか	5	4	3	2	1
合計点数		63点／100点				

3 決算額及び利用状況

市決算額	23年度	24年度	25年度	指定管理料 対前年度増減		今期指定管理者選定 前3ヶ年の 平均決算額	利用人(件)数			利用人(件)数 対前年度比増減	
指定管理料	62,278,772	63,400,000	64,400,000	25年度-24年度	24年度-23年度	147,145,439	23年度	24年度	25年度	25年度/24年度	24年度/23年度
使用料	1,830,850	1,928,000	1,858,100	1,000,000	1,121,228		4,682	4,965	5,016	101.0%	106.0%
成果配分金											

※指定管理料欄及び3ヶ年の平均決算額欄:指定管理者制度導入1期目の施設については直當時3ヶ年の決算額を記入。

※成果配分金は当該年度に記載(市の決算上は翌年度収入)

4 現状と課題及び次年度以降に向けた方向性

* 2の評価を踏まえ、記載してください。また、特に評価すべき点、改善が望まれる点、今後取り組むべき点も記載してください。

・全地域センター・市民プラザを通じた25年度重点課題は、(1)中・長期的修繕計画に基づいた修繕計画の予算の執行と行政への提案(2)危機管理体制の強化と安全管理のための情報収集・分析(3)施設備品の修繕、購入の計画的実施(4)建物の経年劣化に対応した日常的維持管理の強化及び水光熱費節減のための日常的な点検の強化(5)利用者が活動しやすい施設運営のために、利用者アンケートの実施、利用者懇談会の開催、サークル活動の支援、職員研修を実施する(6)市民・利用者参加を中心にした企画・実行・評価の体制作り(7)地域のニーズにあった自主事業の実施による利用者層の拡大(8)地域の関係機関との連携(9)地域の情報収集・発信の継続となっており、これに基づき運営を行っている。

・近隣の自治会との連携や、商店街主催の事業のバックアップを積極的に行い、多くのサークル結成の場を提供し、様々なイベントが開催されている。

・西部地域センターでは、施設全体の老朽化が進んでおり、25年度においては小規模な修繕にとどまらず、受動電源設備の更新など重要な設備に更新をする必要が生じている。このことから、行政と指定管理者が連携し計画的なメンテナンスを行っていく必要がある。

※3決算額及び利用状況の平成25年度分指定管理料については、施設毎の指定管理料の配分を再精査をした結果である。

※3決算額及び利用状況の利用人(件)数について、これまでの人数表記から件数表記に変更している。

5 総合評価

公平な使用の確保		市民サービスの向上		経費節減など 効率的な運営		安定的な施設サービスの 継続的な提供		施設の特性による サービス提供		A期待大きく 上回る B期待以上 C期待通り D期待やや下 回る E期待下回る
・公平性の確保	C	・サービスの維持向上 ・施設の維持管理 ・危機(情報)管理対策 ・利用者の評価 など	B	・効率的な運営 (経費節減)など	B	・業務体制 (職員配置・研修等) ・指定管理者の安定性など	C	・公の施設の設置目的の 達成など	B	

記入日 平成27年2月3日

6 二次評価

地域と連携し、西部地域センターの地域特性を生かした事業を展開し、地域の福祉に貢献している点は、大変評価できる。課題として、施設の老朽化に伴い修繕箇所が多く発生していることがあげられるが、事業に支障が出ないように的確に対応していただきたい。	評価
	B